12／28（金）の発表

報道発表資料の配付日時　　12月28日（金）10時00分

発表項目（行事名）	平成30年度第１回タンチョウ越冬分布調査の結果について
記者ﾚｸﾁｬｰのお知らせ	（実施日時）　発表者：　発表場所：

1　平成30年度第１回タンチョウ越冬分布調査を次のとおり実施しました。

	平成30年度 第１回	平成29年度 第１回
調査日時	12月5日（水）　8:50～9:10	12月5日（火）　8:50～9:10
調査区域	８振興局37市町村	８振興局32市町村
調査箇所	計322箇所（野生319箇所）	計235箇所（野生232箇所）
調査協力者	小・中学生など計365人	小・中学生など計343人

2　タンチョウ確認羽数　（単位：羽）

平成30年度 第１回	合計:1,054【成鳥:897、幼鳥:113、不明:6、飼育個体:38】 野生個体:1,016（釧路:756、十勝:196、根室:51、ｵﾎｰﾂｸ:2、宗谷:5、胆振:3、日高0、空知3 ）
平成29年度 第１回	合計:653　【成鳥:529、幼鳥:63、不明:28、飼育個体:33】 野生個体:620（釧路:538、十勝:67、根室:9、ｵﾎｰﾂｸ:2、日高:3、胆振:1）

3　調査結果に対する有識者（正富 宏之（まさとみ ひろゆき） 専修大学北海道短期大学名誉教授）のコメント概要

○　８振興局管内の37調査市町村のうち25市町村（67.6%）でタンチョウを確認。319調査地区のうち半数近くの149地区で生息を記録。

○　初めて空知管内でタンチョウが目撃され、昭和27年の調査開始以来初めて７振興局管内で生息を記録。12月初旬は道東のみならず道北や道央まで広くタンチョウが分布していることが示された。

○　確認羽数は12月（第１回調査）としては初めて1,000羽を超え、十勝では過去最多となる200羽近い個体を記録。

参考	今年度第２回の調査は平成31年１月25日（金）に実施する予定です。

報道（取材）に当たってのお願い	第１回調査では、地元の小・中学校の児童生徒をはじめ多くの方々の御協力をいただいております。 また、昨年度から北海道と包括連携協定を締結している日本航空株式会社（ＪＡＬ）と協働で実施しておりますので、積極的な報道をお願いします。
他のｸﾗﾌﾞとの関係	同時配付：下記の（総合）振興局で配付します。 同時レク：

担当（連絡先）

環境生活部環境局生物多様性保全課生物多様性戦略グループ
坂村（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ：011-204-5987 又は 代表：011-231-4111 内線24-389）
日高振興局　環境生活課　課長　田森　吉雄（直通0146-22-9250）
自然環境係長　永井　秀和（直通0146-22-9254）

※ 他管内の調査内容については、次の（総合）振興局までお問い合わせ願います。

区分	電話番号	区分	電話番号
空知総合振興局	0126－20－0043	ｵﾎｰﾂｸ総合振興局	0152－41－0630
胆振総合振興局	0143－24－9577	十勝総合振興局	0155－26－9028
釧路総合振興局	0154－43－9154	根室振興局	0153－23－6823
宗谷総合振興局	0162－33－2922		